



第8回年次大会（新潟大会）を開催いたしました（御礼）

2019年8月17日（土）18日（日），「Society5.0に向けた教育を考える」をテーマとして開催された日本デジタル教科書学会第8回年次大会（新潟大会）には，2日間でのべ約300名の方々からご参加をいただきました。

1日目（8月17日（土））は新潟日報メディアシップを会場に，一般研究発表（口頭），課題研究発表，基調講演，そして懇親会が行われました。基調講演では，東北大学大学院教授の堀田龍也氏から，「Society5.0に向けた教育を考える」をテーマに，これからの社会の変化等に対応した教育の在り方について，分かりやすく，そして具体的にお話をいただきました。少子高齢化に向かう日本において，よりよい子どもたちの学びのために，さらには，教員の多忙化解消などの視点も含めて，どのように情報技術を活用し，どのような学習を進めていけばよいのかがよく分かりました。また，本学会の今後についてもご指導をいただくことができました。いただいたご指導を基に取組を進めていきます。基調講演や研究発表後の懇親会にも70名近くの方からの参加があり，情報交換を行いながら懇親を深めることができました。

2日目（8月18日（日））は新潟大学教育学部附属新潟小学校を会場に，一般研究発表（口頭），一般研究発表（ポスター），総会，ワークショップが行われました。ワークショップでは，ドローンのプログラミングや操作，デジタル音楽づくり，プログラミング教育用ソフトウェアの活用，教育とAIなどのワークショップが行われました。このワークショップには，学会員や教育関係者だけでなく，一般の市民の方々からも参加していただきました。楽しみながら，最新の教育などについて実感する機会になったと思います。

研究発表件数については，台風接近のためなどの理由により残念ながら2件の発表取り止めがありました。過去最高となる57件の発表がありました。課題研究発表では，

「Society5.0時代の教育」「授業実践を通して考えるプログラミング教育」「特別支援教育に

における ICT 活用・情報活用能力の育成」の 3 つのテーマについて、それぞれの研究発表を基にした活発なディスカッションが行われ、議論を深めることができました。一般研究発表でも、口頭発表とポスター発表の両方で活発な意見交換が行われ、充実した時間となりました。本年度の若手優秀賞は、酒井佑輔氏、若手奨励賞は、磯川祐地氏、兼子明日華氏が受賞されました。どの研究も大変意欲的で興味深い研究であり今後のさらなる研究を期待しています。

また、本大会では、研究お悩み相談ブースを設置し、主に教育現場の先生方に対して具体的な研究の進め方等についてアドバイスをを行い、好評を得ることができました。今後も教育現場の先生方と大学等の研究者の先生方が協力して研究できる環境づくりを進めていきたいと考えています。

新潟での開催は、第 3 回大会に続き今回が 2 回目となります。前回の新潟大会よりもさらに充実した大会となり、大変ありがたく思います。この勢いを来年度の京都大会につなげていくことが大切と考えております。

今後とも本学会の活動にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



日本デジタル教科書学会会長

長谷川 春生

第 8 回年次大会（新潟大会）大会実行委員長

大関 正人

第 8 回年次大会（新潟大会）において若手優秀賞，若手奨励賞を授与いたしました

本学会では、若手の実践者や研究者を発掘し、その活動を後押ししようと、年次大会において若手優秀賞，若手奨励賞の授与を行っています。

この賞は、35 歳以下の筆頭者を対象に年次大会へ早期締切までに投稿された研究の中から、特に優れた研究を行った方に対して贈られます。

受賞者の発表は、大会初日の懇親会の前に行われ、長谷川会長より賞状の授与と島田副会長から講評がありました。

受賞された皆様、おめでとうございます！！



若手優秀賞

受賞者：酒井 佑輔 氏（新潟市立笹口小学校）

ゴール型ゲームにおけるボールを持たないときの戦術的な動き作りの工夫
～タブレット型 PC の録画・視聴機能でつなぐ「気付く」と「できる」～

若手奨励賞

受賞者：磯川 祐地 氏（上越教育大学大学院）

磯川 祐地(上越教育大学大学院) 佐藤 和紀(常葉大学)

清水 雅之(上越教育大学大学院) 堀田 龍也(東北大学大学院)

小学校プログラミング教育における実践研究の動向に関する調査研究

受賞者：兼子 明日華 氏 (愛知淑徳大学心理医療科学研究科)

兼子 明日華(愛知淑徳大学心理医療科学研究科)

北野 彩佳(愛知淑徳大学心理医療科学研究科)

坂田 陽子(愛知淑徳大学心理学部)

タブレット画面に提示される教材のページ数の違いが幼児の文章理解におよぼす影響

これらの賞の選考方法は次のとおりです。

- ・学会理事から5名の選考委員を選出し、審査を行います。(本年度は事情により4名で行いました。)
- ・発表予稿に対して「新規性」「論理性」「有用性」「将来性」の4観点について、それぞれ5点満点で選考委員が採点します。採点時には、著者名・所属を除いた予稿を用います。上記の合計点の上位3名を受賞候補者とします。
- ・大会初日の午前に受賞候補発表セッションを設け、候補者にご発表いただきます。その後、選考委員の合議により、最も優れていると考えた候補者に「若手優秀賞」を、若手優秀賞に続き優れていると考えた候補者に「若手奨励賞」を授与します。

■ 新体制のご報告

2019年8月16日に開催されました理事会におきまして、役員改選に伴う新体制が決定し、18日の総会において承認されました。

以下に新体制のご報告をさせていただきます。

会 長	長谷川 春生 (富山大学大学院)
副会長	片山 敏郎 (新潟市立鏡淵小学校)
	島田 英昭 (信州大学学術研究院教育学系)

■ 研究委員会

委 員 長	広瀬 一弥 (亀岡市立東別院小学校)
副委員長	佐藤 和紀 (常葉大学教育学部)
	眞壁 豊 (東北文教大学)
委 員	内田 明 (佐賀市立若楠小学校)
(50音順)	杉本 真樹 (国際医療福祉大学大学院)
	竹中 章勝 (青山学院大学 社会情報学研究科 客員研究員)
	松下 慶太 (実践女子大学)

■編集委員会

委員長	坂田 陽子（愛知淑徳大学）
副委員長	島田 英昭（信州大学学術研究院教育学系）
委員	市原 靖士（大分大学教育福祉科学部）
（50音順）	寺尾 敦（青山学院大学）
	森下 孟（信州大学学術研究院教育学系）

■広報委員会

委員長	稲田 健実（福島県立平支援学校）
副委員長	小林 祐紀（茨城大学）
委員	一戸 信哉（敬和学園大学）
（50音順）	加藤 悦雄（大妻中等高等学校）
	反田 任（同志社中学校・高等学校）
	平本 将司（広島市矢野公民館）
	水越 綾（杉野服飾大学）
	足立 賢治（島根県情報教育研究会）

■事務局

事務局長	久富 望（京都大学教育学研究科）
副事務局長	大関 正人（新潟市立新潟小学校）
事務局員	岩山 直樹（富山大学人間発達科学部附属小学校）
（50音順）	上田 昌史（京都産業大学）
	大滝 徳久（新潟市立新潟小学校）
	眞壁 豊（東北文教大学）
	後藤 正樹（琉球フィルハーモニック）
	杉山 一郎（長岡市立希望が丘小学校）

■大会実行委員会

実行委員長	久富 望（京都大学教育学研究科）
事務局長	広瀬 一弥（亀岡市立東別院小学校）
委員	長谷川 春生（富山大学大学院）
大会アドバイザー	上田 昌史（京都産業大学）
大会アドバイザー	反田 任（同志社中学校・高等学校）

■監事

	反田 任（同志社中学校・高等学校）
	林 俊行（新潟市立五十嵐小学校）

■顧問（50音順）

岩居 弘樹（大阪大学）
上松 恵理子（武蔵野学院大学）

■ICT CONNECT 21 担当

担当顧問 上松 恵理子（武蔵野学院大学）
担当理事 高瀬 浩之（松戸市立第二中学校）

研究会開催助成について

日本デジタル教科書学会では、会員の皆様の主体的な研究会の開催支援、研究活動の活性化、研究の発展、会員相互の連携を促進すること等を目的に研究会開催助成を行っております。申請に関する詳細は本学会ウェブサイトをご確認下さい。会員の皆様の積極的な応募をお待ちしております。

（本学会サイトトップページ上部の“学会への申請一覧”の“研究会開催助成について”をご覧ください。申請書もこちらからダウンロードして頂くことができます。）

[\(http://js-dt.jp/seminar_support/\)](http://js-dt.jp/seminar_support/)

第9回年次大会（京都大会）の開催について

2020年の日本デジタル教科書学会(JSDT)年次大会は、8月10日（月祝）11日（火）に、京都大学の百周年時計台記念館2Fにある、国際交流ホールにて開催予定です。

なお、この時期の京都は混雑が予想されます。また、東京オリンピックの直後（閉会式は8月9日）であるため、人の移動も大変多くなることが予想されます。早めの宿・移動手段の確保をお勧めいたします。

詳しくはこちらのWebページをご覧ください。 (<http://kyoto2020.js-dt.jp>)